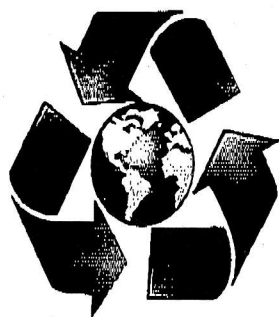


# 『快適エコライフ実践講座』 受講者を募集します。



大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済活動は、現在、ごみ排出の抑制、ごみ処理場の確保、将来的な資源不足などといった問題をもたらしています。また、地球規模では、温暖化、自然の破壊・減少など、将来的な自然環境の保全に向け、多くの課題を抱えています。

環境への負担を低減するため、また、豊かな自然を将来に受け継いでいくため、今私たちに何が求められているのでしょうか。

環境にやさしいエコライフの実践について、ともに考えていきましょう。

## 🌀 講座メニュー

第1回講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 日時 平成22年9月15日(水) 午後6時～</li> <li>◇ 会場 鹿角市交流センター 第1研修室</li> <li>◇ 講演 演題 『わが国江戸期の人間と自然の関係から環境教育について考える』 講師 青森大学大学院 環境科学研究科 環境教育学 准教授 関 智子 氏</li> </ul>
第2回講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 日時 平成22年9月30日(木) 午後6時～</li> <li>◇ 会場 鹿角市交流センター 第1研修室</li> <li>◇ 講演 演題 『 八郎湖再生新時代 ～展望と課題～ 』 講師 秋田県立大学 地域連携・研究推進センター 教授 谷 口 吉 光 氏</li> </ul>
第3回講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 日時 平成22年10月8日(金) 午後6時～</li> <li>◇ 会場 鹿角市交流センター 第1研修室</li> <li>◇ 講演 演題 『 誰にでもできるエコライフを紹介します 』 講師 秋田環境カウンセラー協議会 環境カウンセラー 内 田 純 子 氏</li> </ul>
第4回講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 日時 平成22年10月14日(木) 午後1時30分～</li> <li>◇ 現地学習 ・東北電力(株)八幡平澄川地熱発電所</li> </ul>
第5回講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 日時 平成22年10月27日(水) 午後6時～</li> <li>◇ 会場 鹿角市交流センター 第1研修室</li> <li>◇ 講演 演題 『 自然体験活動は人間の成長にどう影響するか 』 講師 青森大学 環境科学研究科 環境教育学 准教授 関 智子 氏</li> </ul>
第6回講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 日時 平成22年11月2日(火) 午後6時～</li> <li>◇ 会場 鹿角市交流センター 第1研修室</li> <li>◇ 講演 演題 『 水にまつわる環境問題と実践エコライフ 』 講師 秋田環境カウンセラー協議会 環境カウンセラー 大 塚 幸 絵 氏</li> </ul>
第7回講座 (『快適環境まち づくり市民会議』 と合同開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 日時 平成22年11月13日(土) 午後2時～</li> <li>◇ 会場 鹿角市交流センター 講堂</li> <li>◇ 講演 演題 『 天気キャスターから見た環境問題 』 講師 気象キャスター 小 越 久 美 氏</li> </ul>

㊦ 認定制度

快適エコライフ実践講座は来年度も実施します。10講座以上の受講者に「エコリーダー認定証」を授与し、地域の環境学習活動の講師等として奨励します。

㊦ お申し込み方法

氏名、住所、電話番号を下記に電話かFAXでお知らせください。(途中参加でも結構です。)

< お申し込み先 > 鹿角市役所 市民部 共働推進課 環境生活班  
電話 30-0224 Fax 22-2042

【 講師紹介 】



気象キャスター 小越 久美 氏

岐阜県出身。  
筑波大学第一学群自然科学類(地球科学専攻 気候・気象学)卒業。気象予報士資格を取得。  
現在、気象キャスターとして活躍。日本テレビ「日テレNEWS24」のお天気コーナーを担当する。  
自らの経験を活かし、天気や環境についての講演活動も行っている。

青森大学 環境科学研究科 環境教育学 准教授 関 智子 氏

『 わが国江戸期の人間と自然の関係から環境教育について考える 』

国内における資源の循環が成り立っていた江戸時代。江戸期の思想家から、わが国の「人間と自然の関係」のルーツを読み解いていきます。心に響く環境教育とはどのようなもののでしょうか。

『 自然体験活動は人間の成長にどう影響するか 』

日常の暮らしから自然との関わりが遠ざかり、人間の成長過程にひずみが出てきているといわれる現代。自然と関わる活動や教育は、私たちにどのような影響を与えるのでしょうか。

秋田県立大学 地域連携・研究推進センター 教授 谷 口 吉 光 氏

八郎湖の再生について研究し、八郎湖の再生活動を実践している。また、「地産地消を進める会」を立ち上げ12年間活動し、そこから地方において生産者と消費者が助け合い、支え合う仕組みを模索している。

秋田環境カウンセラー協議会 環境カウンセラー 内 田 純 子 氏

地域のクリーンアップ活動により、空き缶デポジットで環境大賞受賞。「エコライフ教室」の講師を行うかたわら、「エコライフを楽しむ会」の代表となり、環境保全活動を推進している。「リサイクルハッピーライフ(啓発誌)」の執筆によりクリーンピア秋田会議にて受賞。

秋田環境カウンセラー協議会 環境カウンセラー 大 塚 幸 絵 氏

環境保全と公害防止の立場から活動を展開し、秋田県のリサイクル製品認定審査委員等、各種審議会委員を務める。子どもたちや環境活動を志望する個人、団体にワークショップや推進講座で指導などを行っている。